# 参議院選挙をたたかって

## 政権交代への土台は築かれた

昨年9月19日のの通常国会で、安倍政権が安保関連法の強行採決を行った時、野党5党は法案の撤回、立憲主義の回復、平和憲法擁護を掲げて事実上の参院選がスタートしました。

全国1人区のすべてで野党の統一候補が実現し、選挙中も最後まで分裂することなく戦いぬき、2ケタ11議席を獲得したことは戦後国政史上でも画期的な出来事になったと思います。

開票中のインタビューで岡田、志位両氏がそろって記者会見し明るい表情で対応している姿は大変印象深いものでした。

長野では統一候補杉尾氏の当選にとどまらず比例区で共産党の武田氏が初当選を果たし、共産党の存在感を高める結果になりました。勝利報告する武田氏の姿も若々しく力強さを感じさせるものでした。

これから国政は益々安倍自公政権との対決がひかえ困難な局面が予想されますがこの共闘の成果と体験を十分生かして市民との信頼をさらに強め充実させていけば来たる衆院選に勝利し政権交代を実現させる展望が開かれると思います。

滝沢　服部守正

東京繁華街をアピールしながら行進する人たち。2列目は野党関係者

## 野党統一と市民の団結発展を

今回の参院選では、改憲派が三分の二を占め残念な結果、違和感の残る結果になりました。

しかし、野党と市民の共闘の発展は劇的に進み、32の1人区すべてで統一候補を擁立することができたのです。安倍政権はこれに脅威と危機感を募らせ激しく攻撃し、自ら何度も応援に入るなど必死に挑んできました。

結果は、安倍政権が重点区として力を入れた選挙区はすべて野党候補が自民党を打ち破って勝利し、統一した力の威力を発揮しました。

安倍首相は「応援に行ったところが負けてしまった」とぼやいているか！。長野選挙区においても、安倍首相は3回も応援に入り、南は飯田から北は長野まで全県くまなく回り、野党統一を「野合」と批判し、統一の要とみなした共産党に対しては猛攻撃し、団結を破壊しようと必死でした。自公選対は官邸が主導し、首相自ら自治体議員に電話をかけ、叱咤激励したり、謀略ビラで個人攻撃をしたりと、なりふりかまわない運動を繰り広げました。

しかし、我々はこれをはね返して、7万5千票差で杉尾候補の勝利を勝ち取ったのです。首相がしょげかえるのも、むべなるかな？参院選後の全国世論調査が出ています。改憲勢力2／3、安倍首相の下の改憲、アベノミクスで景気が良くなる、これ等の設問にいずれも否定が多数です。衆院選もそう遠くはないと思います。さらに幅広く共闘を深め、安倍政権の暴走を止めなくてはいけません。

渋田見　太田勍

## 皆さんの声を国会に届けるためにがんばります。

武田良介さん

参議院選挙の結果、日本共産党の比例代表選挙での5人目の当選者として、国会でがんばることとなりました。日本共産党は、比例代表選挙で「9人のベストチーム」を国会へ送りだそうと選挙に臨み、5人の当選となりました。

国会へ届かなかった4人の方の奮闘も受けて、日本中のみなさんの声を国会に届けるためにがんばります。

市民のみなさんと、野党が力を合わせて政治を変える新しい時代が幕を開けたと実感します。

引き続き、共同を発展させ、対案を示し、自民党政治と正面から対決してがんばります。

## 6月議会を傍聴して

6月定例議会一般質問が15～16日行われ、甕新町長の初答弁に関心があり傍聴しました。

選挙公約に掲げた課題をどのように具体化するかという点を注目しましたが、そつなく無難な答弁で甕カラーを鮮明にするには至っていないと感じました。

議員は8名が質問に立ち、ごく身近な問題から自民党の憲法草案まで幅広く取り上げました。

議長を除く議員10名全員が町民を代弁して、新町長の基本方針を聞くべきであったと思います。

傍聴者は2日間で延べ12人程度で相変わらずの少なさです。議会も町民ももっと努力しなければなりませんね。

薄井議員は①「あずみ野池田総合戦略」の進め方について、②防災対策の推進について。服部議員は①町長の基本姿勢を問う、②子育て支援策について、を質問しました。

牛越邦夫

## 選挙が終わった途端、介護制度改悪案

選挙が終わったとたん、2018年度の介護保険制度改定へ向け厚労省の社会保障審議会が始まりました。

今回の改定議論で削減の標的にされているのは、要介護1・同2の人の暮らしを支える生活援助サービスです。

介護保険をめぐっては、一昨年の法改悪で要支援1・同2の人の訪問介護などのサービスが保険対象から外されたばかりです。

部会では現在1～2割の自己負担を全額負担にすべきだとの意見も出されたとのことです。

社会保障費の大幅削減のために、次から次へと介護保険改悪をすすめる安倍政権の姿勢は、あまりに異常です。

安倍首相が選挙公約とした「介護離職ゼロ」は口先だけのものだったことが改めて分かり、大きな怒りを覚えます。

山本久子

# 聞いて！聞いて！

## 読者のひろば

皆さまからの投稿をお待ちしています。

### 野党統一候補の勝利よかったですね

池田町に移住し、10年になろうとしています。前期高齢者のひとりです。新婦人の仲間や友人にも恵まれ、元気なうちはと新しいことにチャレンジし動き回っていますが、世の中は激しく移り変わり最近はテロにより罪のない大勢の人々が亡くなり、日本でも残忍な事件のニュースばかりです。

安倍内閣は多数の国民の声を無視して「安保法制」戦争法を強行採決しました。太平洋戦争の反省もなくあの同じ時代を繰り返してよいのでしょうか？二度と悲惨な戦争を繰り返してはなりません。

そのような中、参議院選長野県、野党統一候補の杉尾ひでやさんの当選と比例代表たけだ良介さんの当選が明るいニュースでした。大北で軽トラ100台結集パレードや各大北地域での集会も成果の一つだったと思います。

すぐに都知事選が始まり、杉尾さんを応援した鳥越俊太郎さんが参院選に続き野党統一候補で立つことになりました。ぜひ、当選してほしいものです。

J・Uさん

### 夏季大学への送迎続けて！

毎年8月に開催される信濃木崎夏期大学は、大正6年から戦争中も欠かすことなく続けられ、今年は記念すべき第100回を8月1日～8月9日の日程で行われます。

我が国一流の講師の先生方による、奥深い講義を楽しみにしている方も多いです。

池田町はこの夏期大学のため、3回ほど送迎バスを運行し町民の受講支援をしてきました。ところが今年は中止するとのことです。

理由は良く分かりませんが、生涯学習を推進する町の方針からも、ぜひ続けてほしいものです。（Kさん）

夏季大学会場